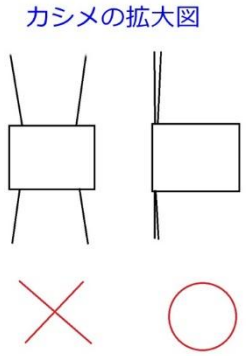
＝＝＝制作実技の動画 ① ② ③＝＝＝

■ サンキャッチャー制作実技

やり方を学んでいただくのが目的なので、この場で上手にできなくても大丈夫です。
帰宅したらバラして、練習してみましょう。

■ カシメと留め輪の練習



カシメを普通に留めると、ワイヤーが分かれてしまいます。

ワイヤーをカシメの片側に寄せて留めていきます。
見本のグリーンのサンキャッチャーのカシメを見てみましょう。

＜40 ㎜のボール型クリスタルパーツと 30 ㎝のワイヤーを使って練習してみましょう＞

①クリスタルパーツにワイヤーを通し、クリスタルの重みでワイヤーをピンと張ります。

②カシメを一個入れて、カシメを留めたい位置から 2 ㎝くらい上の部分を持ちます。

③カシメを平ヤットコで軽くつまんで、留めたい位置まで上げて、工具側に軽く引っ張り潰します。
※強く引っ張るとワイヤーが曲がるので注意！

■ 修正する方法

①カシメを外したい場合は、両脇を平ヤットコで挟んで広げると外れることがあります。

②ワイヤーがたるんだ時は、片手でクリスタルを持ち、もう片方はワイヤーの最上部を
平ヤットコでほんの少しつかんで、引っ張ると修正できることがあります。
つかんだ部分のワイヤーが曲がってしまったら、カットしましょう。
※この2つの方法は 100%修正できるわけではありません。
上手くいかない場合は新たなワイヤーで作り直しましょう。

■ 留め輪の取り付けの練習

留め輪を付けると高級感が出ますので、ちょっと難しいですががんばってみましょう！

ワイヤーを二本そろえて、上部をカットして長さを揃えます。
カシメを 2 個入れて、ワイヤーの端から 12 ㎜～15 ㎜くらいのところを親指の爪、または工具で折りグセをつけます。
留め輪を付けて、ワイヤーを 4 本束ねてカシメをスライドさせ潰します。

※ワイヤーがたるんだりズレてしまいやすいので、繰り返し練習しましょう。

■ グリーンのサンキャッチャー制作 ： 直径 40 ㎜ボール型　長さ 40 ㎝（ワイヤー80 ㎝）

•見本のサンキャッチャーを置き、その隣にビーズと金属パーツを並べましょう。

•クリスタルにワイヤーを通し、中央まで移動してください。
両脇に小さいビーズを 3 個づつ入れて、ワイヤーを二本そろえてエメラルドグリーンを入れます。

一番はじめのカシメを留める時の注意点！

•クリスタルの重みでワイヤーをピンと張って、カシメをしっかりと下に押し付けてから、
次に工具側に引っ張りつぶします。

•蝶の取り付けは、蝶の表側の下穴からワイヤーを通し、裏側の穴とワイヤーをしっかりと親指で抑えて
上の穴にワイヤーを通します。

•最後に留め輪を取り付けましょう。

※どうしても留め輪を取り付けるのが難しいようであれば、ワイヤーを輪にするだけで OK です。

■ 天使のサンキャッチャー制作 ： 直径 20 ㎜ボール型オーロラカラー（AB）　長さ 15 ㎝（ワイヤー50 ㎝）

•「オクタゴン」という名称と、表裏の見分け方を覚えましょう。
•天使をカシメで留める時、緩まないようカシメをしっかりと下に押し付けた後、工具側に引っ張り潰します。
•最上部の「ワイヤーを折り返して輪を留める方法」は、補助紐を使うと作業しやすくなります。
•留め輪と本体の間はなるべく隙間がないようにしましょう。

トレーナーが実際にやってみせますので、理解してから作業しましょう。

■ チャーム制作 ： チャーム用クリスタルパーツ　（ワイヤー30 ㎝）

•「ワイヤーを折り返してカニカンを留める方法」は補助紐を使うと、曲がらずに作ることができます。
•カニカンが不良品でないか、確認してから取り付けましょう。
•カニカンと本体の間はなるべく隙間がないようにしましょう。

■ ワークショップの注意点！

•ワークショップでは、お客さまがビーズを並び終えてからワイヤーを渡すこと。
先にワイヤーを渡してしまうと、お客さまがビーズを入れたり出したりで時間がかかります。

•サンキャッチャーの長さに決まりはありません。
実技で行ったのは一例ですので、ワークショップや販売ではお好きな長さにしてください。